

野菜作りでつながる「自然」な地域づくり

「江北ベジサロン」は2019年に活動を始め、昨年度は地域の多団体と連携して秋祭を実施しました。そんなサロンにコロナ禍における活動を見に行きました。

当日は体操をした後、収穫や次の収穫の作業をされていました。途中、隣の障がい者施設「江北ひまわり園」の利用者の方たちと、笑顔で挨拶を交わす姿もありました。

代表の清水さんは「家にこもりがちな今は畑があることで皆さん、いい気分転換になっていると思います」とお話ししてくださいました。活動時にはマスクや手袋をするなど感染対策もしっかりと行い、活動を楽しんでいるベジサロンは、コロナ禍での活動の見本になるのではないかと思います。



作業前に空間を空けながら準備体操。指導されている方もサロンの参加者です。けが防止もちろんですがコロナ禍で免疫力アップの効果もあるそうです。



春菊、ほうれん草、サニーレタスがこんなにたくさん採れました！他にも季節によって、人参、大根、スイカなどもメンバーで話しながら植えています。

取材日：令和2年12月24日（木）

参加者数：19名

取材メモ：活動のメンバーだけではなく、地域、施設、人が畑を通して自然に溶け込んでいる。とても気持ちのいい空間がそこにありました（阿部耕平）

問合せ先：地域福祉課 ☎6807-2460 FAX5681-3374